

第101回 学長定例記者会見

日時：平成30年8月28日（火）10：00～10：30  
場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟4階 4F会議室  
※テレビ会議システムにより、記者会見の様相を同時配信  
受信場所：東千田キャンパス 総合校舎1階 会議室  
※Ustream およびYouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 大学院統合生命科学研究科及び大学院医系科学研究科の平成31年4月設置が決定しました
2. 未来博士3分間コンペティション2018において特別セッション『西日本豪雨からの教訓』を開催します
3. 福島県と包括連携協定を締結しました
4. 保護者向け「広島大学地域懇談会」を開催します

【お知らせ】

1. 文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業（理数分野）「思考力等の評価を目指した理数分野における入試改革セミナー」を開催します
2. 広島市からの委託事業「平成30年度広島市訪問看護師養成事業」を広島大学医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センターが実施します
3. 第6回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します
4. 公開講演会『共生を超えて—「神の島」宮島の自然と歴史—』を開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：平成30年9月下旬  
場所：広島大学 霞キャンパス

平成 30 年 8 月 28 日

## 大学院統合生命科学研究科及び大学院医系科学研究科の

### 平成 31 年 4 月設置が決定しました

広島大学が文部科学省に提出した大学院統合生命科学研究科及び大学院医系科学研究科の設置報告書が、8 月 20 日付で受理されました。これにより 2 研究科の平成 31 年 4 月設置が決定しました。今後、本格的に学生募集活動を展開します。

大学院統合生命科学研究科は、発展・変革し続ける生物学・生命科学系の研究領域に迅速に適應し、他の研究分野とも柔軟に融合・連携しながら、イノベーションを創出し、基礎から応用まで、幅広い分野に対する理解と高い専門性を身に付け、グローバル社会における様々な諸課題を解決できる先導的・指導的研究者、高度専門職業人及び教育者を養成します。

専攻は、統合生命科学専攻（博士課程前期（170 人）、博士課程後期（70 人））の 1 専攻とし、博士課程前期及び博士課程後期ともに 7 つの学位プログラム（生物工学プログラム、食品生命科学プログラム、生物資源科学プログラム、生命環境総合科学プログラム、基礎生物学プログラム、数理生命科学プログラム、生命医科学プログラム）で構成します。

また、「今回の再編に伴い新設する予定の全研究科の博士課程前期及び後期の学生が受講する大学院共通科目」、「基礎から応用まで、幅広い分野を網羅する各学位プログラムの内容を俯瞰的に理解するための研究科共通科目」、「さらに 7 つの学位プログラムにおける体系的な基礎科目及び専門科目」を履修する教育課程の編成により、所属する学位プログラムで深い専門性を身に付けるだけでなく、研究分野の壁を越えて基礎から応用までの幅広い授業の受講が可能となります。

大学院医系科学研究科は、医学・歯学・薬学・保健学の 4 分野における基盤的研究の深化と分野間の連携・融合を図り、生命医科学の急速な進歩と医療技術の高度化に迅速に対応する先端的な教育研究を推進することにより、従来以上に高度なチーム医療を担うことができる高度専門医療人を育成するとともに、旧来の学問分野の枠組みを超えて、複合領域や新しい領域で活躍でき、「持続可能な発展を導く科学」に貢献できる人材を養成します。

専攻は、医歯薬学専攻（97 人）、総合健康科学専攻（博士課程前期（76 人）、博士課程後期（25 人））の 2 専攻とし、

- ・医歯薬学専攻は 4 つの学位プログラム（医学専門プログラム、歯学専門プログラム、薬学専門プログラム、放射線医科学専門プログラム）
- ・総合健康科学専攻（博士課程前期）は 5 つの学位プログラム（保健科学プ

プログラム、薬科学プログラム、公衆衛生学プログラム、医学物理士プログラム、生命医療科学プログラム)

・総合健康科学専攻（博士課程後期）は3つの学位プログラム（保健科学プログラム、薬科学プログラム、生命医療科学プログラム）で構成します。

この新研究科設置により、既存の医歯薬保健学研究科における教育・研究のさらなる融合とともに他の研究分野との横断的なプログラムを提供できる教育課程の編成により、所属する学位プログラムで深い専門性を身に付けるだけでなく、分野を超えた教員の講義を受講することが可能となり幅広い知識を修得することが可能となります。

なお、大学院統合生命科学研究科と大学院医系科学研究科は、強く連携しており、両研究科に配属された教員で構成される分野横断型の学位プログラム（大学院統合生命科学研究科生命医科学プログラム、大学院医系科学研究科生命医療科学プログラム）もあります。

【お問い合わせ先】

広島大学 総合戦略室 総合戦略グループ TEL：082-424-3720 FAX：082-424-6007
---

広島大学大学院

## 統合生命科学研究科 (平成31年4月設置)

現4研究科7専攻(一部を含む)を1専攻に再編

先端物質科学研究科	分子生命機能科学専攻
生物圏科学研究科	生物資源科学専攻
	生物機能開発学専攻
	環境循環系制御学専攻
総合科学研究科	生命・環境系分野
理学研究科	生物科学専攻
	数理分子生命理学専攻

 統合生命科学研究科  
(東広島キャンパス)

 統合生命科学専攻  
(博士課程前期2年, 後期3年)

- ・生物工学プログラム
- ・食品生命科学プログラム
- ・生物資源科学プログラム
- ・生命環境総合科学プログラム
- ・基礎生物学プログラム
- ・数理生命科学プログラム
- ・生命医科学プログラム

分子・細胞から生態・進化まで,  
基礎科学から医学・産業応用まで,  
分野を超えて生物・生命科学・医科学の研究分野を結集!  
専門性の高い最先端の生命科学と  
異分野融合によって生まれる新しい生命科学分野を学ぶ機会!

 強い  
連携

広島大学大学院

## 医系科学研究科 (平成31年4月設置)

 医歯薬保健学研究科(広島市, 霞キャンパス)を  
5専攻から2専攻に再編

医歯薬保健学研究科	医歯薬学専攻(博士課程4年)
	口腔健康科学専攻(博士課程前期2年, 後期3年)
	薬科学専攻(博士課程前期2年, 後期3年)
	保健学専攻(博士課程前期2年, 後期3年)
	医歯科学専攻(修士課程2年)

 医系科学研究科  
(霞キャンパス)

医歯薬学専攻 (博士課程4年)

- ・医学専門プログラム
- ・歯学専門プログラム
- ・薬学専門プログラム
- ・放射線医科学専門プログラム

総合健康科学専攻

(博士課程前期2年, 後期3年)

- ・保健科学プログラム
- ・薬科学プログラム
- ・公衆衛生学プログラム※
- ・医学物理士プログラム※
- ・生命医療科学プログラム

(※は博士課程前期のみ)

医学・歯学・薬学・保健学の4分野における基盤的研究の深化と分野間の連携・融合を通じて, 先端的な教育研究を推進。  
全てのライフステージに対応し, 健康寿命を延伸させる新しい健康・医療・介護システムを構築できる人材を育成。大学院, 研究科, 専攻共通科目の履修により, 分野を超えた幅広い視野を身に付ける。

## 統合生命科学研究科 養成する人材像

発展・変革し続ける生物学・生命科学系の研究領域に迅速に適応し、他の研究分野とも柔軟に融合・連携しながら、イノベーションを創出し、基礎から応用まで、幅広い分野に対する理解と高い専門性を身に付け、グローバル社会における様々な諸課題を解決できる先導的・指導的研究者、高度専門職業人及び教育者を養成する。

- 生物工学プログラム**：「バイオサイエンス」と「バイオテクノロジー」を融合した生物工学分野において、深い専門的な学識と、高度な研究能力と専門技術とともに、学際的視野を有し異分野を融合・連携させた課題発見・解決能力と社会実践力を兼ね備えた、国際社会・人類社会に貢献する高度職業人及び研究者人材を養成する。
- 食品生命科学プログラム**：食料資源や有用生物の機能を解明し、食品や人間生活に利用される生物の機能を農学的な視点から開発して、食料の生産管理を含めた先進的で広い視点から、食資源の高度利用と生物の多様な機能の基礎から応用を行う諸分野で、地域及び国際社会で活躍できる研究者・高度専門技術者を養成する。
- 生物資源科学プログラム**：生物資源の生産と利用に関わる生命現象の基礎から応用までを統合的に理解し、生物資源の持続的生産、食料や人間生活への応用、生物多様性の維持と生物圏環境の保全等を行う諸分野で、生物資源の機能を研究する能力が優れているとともに、生物生産フィールドで先進的な技術開発を行う実践力を備えて、地域並びに国際社会で活躍できる研究者・高度専門技術者を養成する。
- 生命環境総合科学プログラム**：生命科学や環境科学に関する理解と洞察を基盤に、応用面までを包括した学際性・総合性・創造性に基づく総合的・融合的な視野を活用して21世紀の「知識基盤社会」に貢献できる能力を有する人材を養成する。具体的には、高度な基礎研究能力と、分子レベルから環境・生態までの広い視野を有し、専門性、学際性、国際性と社会実装能力を身に付け、基礎から応用まで異分野を含めて俯瞰的に生命科学をとらえることで、研究の発展性や波及効果までを一望できる自立した研究者、高度専門職業人、又は教育者であり、生命科学以外の領域をも包含したグループのリーダーとして活躍できる人材を養成する。
- 基礎生物学プログラム**：基礎生物学における幅広い専門知識を深めるとともに、異分野融合研究・応用研究についても積極的に関わりながら、国際的な視野を持って、自立して先導的な基礎生物学分野の研究を行う能力を有する人材を養成する。
- 数理生命科学プログラム**：異分野研究を融合した新たな研究展開を国内外で先導できる人材、生命科学・生命現象を理解した上で、独創的な数理科学的解析や数理モデルを構築できる人材、数理科学的解析や数値シミュレーションと生物又は化学の専門的知見を組み合わせ、生命科学・生命現象を理解・深化できる人材、生命科学的研究で使用する科学機器について、試料や測定条件を広範に応用するとともに、複数の機器を組み合わせ測定できる人材を養成する。
- 生命医科学プログラム**：基礎生命科学分野と医療科学分野の双方を俯瞰し、橋渡しのできる知識、国際的コミュニケーション能力、およびリーダーシップ能力を有する人材、教育・研究機関において医科学研究を推進し、当該分野のリーダーとなりうる人材や医療関係の国際的企業等において研究開発を中心的に牽引できる人材を養成する。

## 医系科学研究科 養成する人材像

医学・歯学・薬学・保健学の4分野における基盤的研究の深化と分野間の連携・融合を図り、生命医科学の急速な進歩と医療技術の高度化に迅速に対応する先端的教育研究を推進することにより、従来以上に高度なチーム医療を担うことができる高度専門医療人を育成するとともに、旧来の学問分野の枠組みを超えて、複合領域や新しい領域で活躍でき、「持続可能な発展を導く科学」に貢献できる人材を養成する。

**医歯薬学専攻：**研究能力に裏打ちされ、かつ医療系の幅広い知識と学識を有した高度専門医療人としての指導的臨床能力を有した医師、歯科医師、薬剤師又はこれらの枠を超えた先端的生命科学研究に精通した人材を養成する。

- **医学専門プログラム：**医学における幅広い学識と高度な研究能力を有し、学際的・国際的に活躍できる教育者・研究者及び時代の要求に応え、先進的医療技術の開発・応用を担うことができる高度専門医療人を養成する。
- **歯学専門プログラム：**歯科医学分野における研究を統合・発展させ、より高度な先進的歯学基礎研究を遂行するとともに、これに基づく応用研究によって高度先進歯科医療を開発し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成する。
- **薬学専門プログラム：**薬学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬学の教育・研究を通じて、我が国の医療薬学及び薬物療法の発展に貢献できる人材、医療を中心とした薬学研究領域で国際的に活躍できる人材を養成する。
- **放射線医学専門プログラム：**放射線の人体影響に関する基礎的研究から臨床放射線医学までの先進的、かつ体系的な教育・研究を実施し、これを地域社会から国際社会まで広く展開できる人材を養成する。

**総合健康科学専攻：**QOL向上や健康寿命の延伸に貢献し、多職種連携、地域包括ケアなど新たな医療提供体制において幅広い知識を有し、リーダーシップをとることのできる看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、歯科技工士、医学物理士、公衆衛生学の専門人材や医歯薬学分野の生命科学研究者などを養成する。

- **保健科学プログラム：**幅広い基礎的知識及び各領域の高度専門知識を身に付け、保健医療の現場で活躍できる実践家、保健医療施設などの指導者並びに国際的に活躍できる視野のある教育者・研究者を養成する。
- **薬科学プログラム：**革新的な医薬品創製を目指す薬学に関する深い学識及び高い見識を有し、薬科学の教育・研究を通じて我が国の創薬科学及び生命薬科学の発展に貢献できる人材を養成する。さらに国際的視点に立って創薬科学及び生命薬科学を基盤とした応用研究を展開する人材の養成も行う。
- **公衆衛生学プログラム：**国際基準である疫学、生物統計学、社会・行動科学、保健行政、国際・環境保健学の5分野の教育を体系的に行う学位プログラムを設置し、科学的根拠に基づく医療を評価・実践できる医療従事者や政策の評価・企画立案を担う行政担当者、国際保健に貢献できる人材の養成を行う。
- **医学物理士プログラム：**医学物理学分野の高度専門職業人として、病院、その他の保健医療施設において、高度化、多様化する医学、歯学、保健学等の進歩に対応できる医学物理士等の医療者、技術者及び各種教育機関において医学物理学の普及を担う教育者・研究者並びに医学物理学分野で国際的に活躍できる人材を養成する。
- **生命医療科学プログラム：**生命医療科学や様々な科学領域との学際領域において、教育・研究機関で基礎的・応用的生命医療科学を高度に推進でき、医療関係の企業等において中心的な立場となつて高度な研究開発に関わることができ、また医療施設において高い研究志向を持って高度な医療に中心的な役割を担って活躍できる人材を養成する。

平成 30 年 8 月 28 日

未来博士 3 分間コンペティション 2018 において  
特別セッション『西日本豪雨からの教訓』を開催します

未来の博士たちが一堂に集い、自身の研究について分かりやすく語る「未来博士 3 分間コンペティション 2018」(※)を、今年も東広島芸術文化ホールで開催します。今回は、特別セッションとして『西日本豪雨からの教訓』をテーマとした特別企画も行います。

本年 7 月に発生した西日本豪雨災害の直後に組織された広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団の調査報告、これからの復興と防災について、一般へ向けた初めての情報発信となります。

参加費は無料です。みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日 時：平成 30 年 9 月 15 日(土) 13 時 00 分～13 時 50 分

場 所：東広島芸術文化ホール くらら 大ホール

テーマ：『西日本豪雨からの教訓』

～広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団からの報告～

参加料：無料

内 容：広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団のメンバーが、水害碑が語る災害の歴史、現在までの調査で判明した豪雨の要因や特徴、土砂災害発生のメカニズム、交通ネットワークへの影響、そしてそれらから何を学ぶことができるのか、トーク形式で分かりやすくお伝えします。

プレゼンター：

藤原 章正 教授 広島大学大学院国際協力研究科(調査団副団長)

熊原 康博 准教授 広島大学大学院教育学研究科(土石流・斜面災害班)

北 真人 特任助教 広島大学大学院工学研究科(水文気象・洪水・氾濫班)

長谷川 祐治 准教授 広島大学大学院総合科学研究科(土石流・斜面災害班)

塚井 誠人 准教授 広島大学大学院工学研究科(生活インフラ災害班)

※「未来博士 3 分間コンペティション」とは、博士課程後期学生が 1 枚のスライドを背景に自身の研究のビジョンと魅力を中高生を含む一般の皆様に分かりやすく語る大会です。2015 年に第 1 回大会を開催し、今年で 4 回目となります。今大会は 9 月 15 日(土) 10 時 30 分～17 時 15 分を開催し、西日本の博士学生計 31 名による 3 分間プレゼンテーションの他、高校生計 21 組によるポスター発表を行います。参加費は無料です。

【お申込み・大会公式サイト】

[https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition\\_2018/](https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition_2018/)

【お問い合わせ先】

グローバルキャリアデザインセンター

TEL:082-424-2058 FAX:082-424-4565

MAIL:hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp



### 特別セッション『西日本豪雨からの教訓』 ～広島大学平成30年7月豪雨災害調査団からの報告～



とき

2018年9月15日（土）

ところ

東広島芸術文化ホールくらら 大ホール

#### プログラム

10:30	開会式	
10:35	未来を拓く！研究最前線	
11:15	博士学生による 3分間で未来を拓く！プレゼンテーション	英語 部門
13:00	特別セッション「西日本豪雨災害からの教訓」	
13:50	博士学生による 3分間で未来を拓く！プレゼンテーション	日本語 部門
14:50	高校生による 1枚で未来を拓く！ポスターセッション	
17:00	閉会式	

未来博士3分間  
コンペティションとは



未来の博士たちが、  
自身の研究のビジョンと  
魅力を3分間で  
分かりやすく語る大会



※ プログラムは変更になる場合がございます

【お申込み・大会公式サイト】 [https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition\\_2018/](https://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition_2018/)

【お問い合わせ先】 未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局（広島大学グローバルキャリアデザインセンター内）  
TEL: 082-424-2058 / E-mail: hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp



13:00-13:50

特別  
セッション

## 『西日本豪雨からの教訓』

～広島大学平成30年7月豪雨災害調査団からの報告～

「未来博士3分間コンペティション2018」では、西日本を襲った記録的豪雨災害を踏まえて、今回、特別セッション「西日本豪雨からの教訓」を設けることにいたしました。  
「広島大学平成30年7月豪雨災害調査団」のメンバーが、水害碑が語る災害の歴史、現在までの調査で判明した豪雨の要因や特徴、土砂災害発生メカニズム、交通ネットワークへの影響、そしてそれらから何を学ぶことができるのか、トーク形式で分かりやすくお伝えします。

### プレゼンター

藤原 章正	教授	広島大学大学院国際協力研究科	(調査団副団長)
熊原 康博	准教授	広島大学大学院教育学研究科	(土石流・斜面災害班)
北 真人	特任助教	広島大学大学院工学研究科	(水文気象・洪水・氾濫班)
長谷川 祐治	准教授	広島大学大学院総合科学研究科	(土石流・斜面災害班)
塚井 誠人	准教授	広島大学大学院工学研究科	(生活インフラ被害班)

13:50-14:50

## 博士学生による 3分間で未来を拓く！プレゼンテーション

西日本の博士学生15名が、自身の研究のビジョンと魅力を3分間で分かりやすく語ります。オーディエンス賞は、皆さんの投票で決まります。是非、あなたの一票を投じてください。

### 日本語部門 発表者一覧

No.	発表タイトル	氏名	大学名
1	細胞はどうやって動いているのか？	田中 真仁	山口大学
2	チタンで骨を創る	小島 玲子	広島大学
3	クロダイとの共存を目指して	河合 賢太郎	広島大学
4	人工細胞膜を、環境に優しい分離膜にしよう！	福間 早紀	岡山大学
5	“あぶら”は筋肉をつくる？	新井田 裕樹	徳島大学
6	薬の新たな可能性を発掘—ドラッグリポジショニングによる創薬—	新村 貴博	徳島大学
7	小さな親切を集めるエージェント：向社会的行動の要因を探る	尾関 智恵	岐阜大学
8	タンパク質ネットワークを解き明かせ！	城戸 康希	愛媛大学
9	微生物の要塞バイオフィルムを攻略せよ	飯田 亮平	鳥取大学 (山口大学配属)
10	サメが作る特殊な抗体～その利用法の開発～	塩屋 亮平	愛媛大学
11	太陽と一緒に地球をお掃除！	田代 啓悟	山口大学
12	見えない分子が「一個ずつ」見える！ ～細胞の顔「糖鎖」の実体を探る～	浅野 早知	岐阜大学
13	周りの人と同じであること／異なっていることのジレンマ：日本で就職した留学生は社会に参加する過程で何を感じているのか	郷司 寿朗	広島大学
14	次世代の癌治療：スマートな抗癌薬輸送	唐 卿	徳島大学
15	地球上で「形」ある多細胞生物が生きるといこと	高宮 一徳	広島大学

博士学生による3分間プレゼンテーション英語部門、高校生によるポスターセッションの発表者一覧は、下記大会公式サイトをご覧ください。未来博士3分間コンペティション2018は、午前10時半スタートです。ご来場お待ちしております。



# 常識を 超える。



*Only those who attempt  
the absurd can achieve  
the impossible.*  
— Albert Einstein

馬鹿げたことを試みる者のみが、  
不可能なことを  
成し遂げることができる。  
—アルバート・アインシュタイン

未来の博士たちが、自身の研究のビジョンと魅力を3分間で分かりやすく語ります。  
彼らの研究があなたの好奇心をかきたてたら、あなたの1票を投じてください。

**審査オーディエンス大募集!** 対象:一般(中高生・大学生も大歓迎)

参加をご希望の方は、下記大会公式サイトにて事前登録をお願いします。

# 未来博士 3分間 コンペティション2018

2018年  
とき **9/15** 土  
10:30 ▶ 17:15  
ところ **東広島芸術文化ホール  
くらら 大ホール**  
入場無料  
広島市内から無料送迎バスの運行を予定  
詳しくは大会公式サイトをご覧ください。

10:30	開会式	司会:バーゲル・ルミ(フリーアナウンサー/元TSSアナウンサー)
10:35	未来を拓く!「お肉だけではない、ブタの魅力」◎プレゼンター:徳島大学 助教 谷原史倫 研究最前線 「いつやるの?「いま」じゃないかも?」◎プレゼンター:広島大学 助教 緒形ひとみ	
11:00	基調スピーチ「Unleash your potential 可能性を解き放て!」◎スピーカー:増井玲子 2016年国際スピーチ コンテスト日本代表	
11:15	博士学生による 3分間で未来を拓く!プレゼンテーション <b>英語部門</b>	
12:15	ランチ休憩 [同時開催]高校生による1枚で未来を拓く!ポスターセッション	
13:00	特別セッション「西日本豪雨災害からの教訓」~現地訪問とデータから読み解く、災害の過去、現在、未来~	
13:50	博士学生による 3分間で未来を拓く!プレゼンテーション <b>日本語部門</b>	
14:50	[同時開催]高校生による1枚で未来を拓く!ポスターセッション	
15:50	スピーチ・ワークショップ byトーストマスターズ	
16:30	審査発表・表彰	
17:00	閉会式	

※プログラムは諸事情により変更になる場合があります。

未来を拓く地方協奏プラットフォーム **HIRAKU** 主催・お問合せ先  
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users  
未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局 TEL 082-424-2058  
(広島大学グローバルキャリアデザインセンター内) ◎メール hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp  
◎大会公式サイト [http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition\\_2018/](http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition_2018/)

共催 GSC広島(アジア拠点広島コンソーシアムによるグローバルサイエンスキャンパス構想)/  
広島大学大学院リーディングプログラム機構「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」及び「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」

特別協賛 Otsuka 大塚製薬 協和発酵バイオ株式会社 SPRINGER NATURE 中外テクノス 日本ハム株式会社中央研究所 広島県教育委員会 トーストマスターズ インターナショナル 戸田五業株式会社 IBM JSW 日本製鋼所 Mazda

審査するのは、  
オーディエンスのあなたです。

**審査オーディエンス大募集!**  
対象:一般(中学生・大学生も大歓迎)

# 未来博士 3分間 コンペティション2018

とき●2018年9月15日(土)  
10:30~17:15

入場  
無料

ところ●東広島芸術文化ホール くらら 大ホール

## [プログラム]

▶大会当日のライブ動画配信も公式サイトで行います。

[http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition\\_2018/](http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition_2018/)



◎司会:バーゲル・ルミ  
(フリーアナウンサー/元TSSアナウンサー)

10:00 開場/受付

10:30 開会式 ◎開会挨拶:広島大学 理事・副学長 高田 隆

### 未来を拓く! 研究最前線

「若手研究者の未来を拓く取組」◎広島大学 理事・副学長 相田美砂子



#### 「お肉だけではない、ブタの魅力」

ブタといえば何を思い浮かべますか? まずはおいしい豚肉を想像するかと思います。実は今、医学研究や再生医療分野でブタが注目されています。さらに近年話題となっている「ゲノム編集」技術を活用することで、ますますブタが活躍する機会が増えると期待されています。わたくしたちが現在取り組んでいるゲノム編集ブタ作製について紹介します。

◎プレゼンター:  
徳島大学 助教  
谷原史倫



#### 「いつやるの? “いま”じゃないかも?」

皆さんは、毎日「食べて」「身体を動かして」「寝て」いますよね? 「規則正しく」を目指しながら、実際には漠然と行われる3要素ですが、その「タイミング」に気をつけることで、身体によい影響を及ぼすことが分かってきました。今回は、それらの研究結果の一部を紹介します。

◎プレゼンター:  
広島大学 助教  
緒形ひとみ

### 11:00 基調スピーチ「Unleash your potential 可能性を解き放て!」

人前で話すスキルは、何故必要なのでしょう? どのようなメリットがあるのでしょうか? 2016年国際スピーチコンテスト日本代表の増井玲子が、人前で話すスキルが皆さんの将来のキャリアや人生にどのように役立つのか、お話しします。

◎スピーカー:増井玲子(2016年国際スピーチコンテスト日本代表)

プログラム

11:15 博士学生による

### 3分間で未来を拓く! プレゼンテーション

英語  
部門

西日本の博士課程後期学生16名が、自身の研究のビジョンと魅力を3分間で分かりやすく語ります。

12:15 ランチ休憩 同時開催 高校生による1枚で未来を拓く! ポスターセッション

### 13:00 特別セッション「西日本豪雨災害からの教訓」

~現地訪問とデータから読み解く、災害の過去、現在、未来~

広島大学平成30年7月豪雨災害調査団からの報告も交えつつ、これからの復興と防災について一緒に考えます。

13:50 博士学生による

### 3分間で未来を拓く! プレゼンテーション

日本語  
部門

西日本の博士課程後期学生15名による発表です。

14:50 同時開催 高校生による1枚で未来を拓く! ポスターセッション

15:50 スピーチ・ワークショップ by トーストマスターズ

即興スピーチから、伝えるエッセンスを学びます。

16:30 審査発表・表彰

17:00 閉会式 ◎未来博士へのメッセージ:東北大学 名誉教授 原山優子

◎閉会挨拶:山口大学 理事・副学長 堀 憲次

#### 賞

★最優秀賞

★グローバル

★チャレンジ賞

★優秀賞

★オーディエンス賞

★特別協賛企業賞

・大塚賞

・協和発酵バイオ賞

・シュプリンガー・ネイチャー賞

・中外テクノス賞

・戸田工業賞

・IBM賞

・JSW日本製鋼所賞

・マツダ賞

オーディエンス賞は、  
あなたの1票で決まります。

発表する学生の情報は、  
大会公式サイトをご覧ください。

\*プログラムは諸事情により変更になる場合があります。\*プログラム終了後、発表者・関係者による交流会があります。

同時  
開催

## 高校生による1枚で未来を拓く! ポスターセッション

次世代の研究者をめざす高校生によるポスター発表をご覧ください。

東広島芸術文化ホール くらら  
大ホール前にて大公開!



未来を拓く地方協奏プラットフォーム

**HIRAKU**  
Home for Innovative Researchers and  
Academic Knowledge Users

未来を拓く地方協奏プラットフォーム「HIRAKU」とは…

広島大学が代表機関、山口大学と徳島大学が共同実施機関として推進している事業。若手研究者が、人・社・理・工系のジャンルを越えて異なる領域にも果敢に挑戦することで、社会を変革する意識と情熱を持った人材となることをめざしています。また、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学、そして多くの企業や公的機関を連携機関とした産学官コンソーシアムを形成し、協力して次世代を担う優秀な若手研究者の活躍の場を創出します。

平成 30 年 8 月 28 日

## 福島県と包括連携協定を締結しました

8 月 10 日、東日本大震災からの復興と地域の活性化を目指す「包括連携協定」を福島県と締結しました。本学が自治体と包括連携協定を締結するのは初めてとなります。

<連携内容>

1. 地域医療体制の支援に関すること
  - ◇ 双葉地域の総合的な医療体制支援
  
2. 県民の健康管理、リスクコミュニケーションの支援に関すること
  - ◇ 県民の健康管理に関する支援
  - ◇ 環境中の放射線モニタリング測定とその「見える化」の支援
  - ◇ 健康不安等に係るリスクコミュニケーションの支援
  
3. 知の集積の促進及び産業振興、人材育成への協力に関すること
  - ◇ 福島県をフィールドとした地域課題解決に資する教育研究活動の展開
  - ◇ 大学の専門的知見を活用した産業振興、人材育成への協力  
(実証研究や地元企業への専門的な助言支援)
  
4. 福島県の情報発信への協力に関すること
  - ◇ 学生や教職員のネットワークを活用した福島県の情報発信への協力
  - ◇ 学園祭等イベントでの福島県の情報発信への協力
  
5. 交流人口の拡大、観光及び県産品の振興に関すること
  - ◇ 福島県インバウンドに係る調査研究
  - ◇ 学生や教職員による県内でのスタディツアー等の定期的な実施
  - ◇ 学生食堂等における県産品の積極的な活用
  
6. 東日本大震災から復興、地域の活性化等に関すること
  - ◇ 震災アーカイブ拠点施設に係る助言・支援

【お問い合わせ先】

社会連携グループ 主査 三戸里美  
TEL:082-424-5871  
MAIL:sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

## 国立大学法人広島大学との主な連携内容

福島県と広島大学は、東日本大震災からの復興と地域の活性化を図るため、下記の分野で連携した取り組みを進めてまいります。

### 1. 地域医療体制の支援に関すること

- ◇ 双葉地域の総合的な医療体制支援【継続】

### 2. 県民の健康管理、リスクコミュニケーションの支援に関すること

- ◇ 県民の健康管理に関する支援【継続】
- ◇ 環境中の放射線モニタリング測定とその「見える化」の支援【継続】
- ◇ 健康不安等に係るリスクコミュニケーションの支援【継続】

### 3. 知の集積の促進及び産業振興、人材育成への協力に関すること

- ◇ 本県をフィールドとした地域課題解決に資する教育研究活動の展開【継続】
- ◇ 大学の専門的知見を活用した産業振興、人材育成への協力【新規】  
(実証研究や地元企業への専門的な助言支援)

### 4. 本県の情報発信への協力に関すること

- ◇ 学生や教職員のネットワークを活用した本県の情報発信への協力【新規】
- ◇ 学園祭等イベントでの本県の情報発信への協力【新規】

### 5. 交流人口の拡大、観光及び県産品の振興に関すること

- ◇ 本県インバウンドに係る調査研究【新規】
- ◇ 学生や教職員による県内でのスタディツアー等の定期的な実施【新規】
- ◇ 学生食堂等における県産品の積極的な活用【新規】

### 6. 東日本大震災からの復興、地域の活性化等に関すること

- ◇ 震災アーカイブ拠点施設に係る助言・支援【新規】



平成30年8月28日

**保護者向け「広島大学地域懇談会」を開催します**

本年度、新たな取組として、学部1年次生及び2年次生の保護者・ご家族を対象に保護者向け「広島大学地域懇談会」を開催します。

これは、学生が充実した大学生活を過ごせるよう、保護者・ご家族に広島大学の教育の取組みや学生生活、留学、就職・キャリア支援などを紹介し、広島大学の修学・キャリア支援等についてご理解いただくことを目的としています。

今年度は、神戸、広島、福岡、松山の順に4地区(会場)で開催いたします。内容は、講演会や本学の修学・キャリア支援等に関する案内・説明のほか、広島大学の卒業生・大学院生による体験談などの講演を行います。

## ＜広島大学地域懇談会の日程＞

会場名	日 時
神 戸	10月20日(土) 13:00~15:55
広 島	11月3日(土) 11:30~15:55
福 岡	12月16日(日) 13:00~15:55
松 山	12月22日(土) 13:00~15:55

※詳細は別紙をご参照下さい。

## 【お問い合わせ先】

教育室 教育部教育支援グループ 角田 TEL:082-424-6151 FAX:082-424-6170
--

# 2018年度 保護者向け 広島大学地域懇談会

対象：学部1・2年次生の保護者・ご家族

## プログラム

神戸 10/20 (土)

広島 11/3 (土)

福岡 12/16 (日)

松山 12/22 (土)

※各地区の会場、開催時間等の詳細は裏面をご確認ください。

## お申込み

右記 Web サイト (申込フォーム) よりお申込みください。

**申込締切日 9月30日 (日)**

### 1 学長講演

※広島会場は岡田武史氏による講演会  
(ホームカミングデー講演会)  
元サッカー日本代表チーム監督  
株式会社今治・夢スポーツ代表取締役



広島大学長  
越智 光夫

### 2 大学案内・説明

学生支援について  
留学支援制度について  
キャリア支援・進路について

### 3 卒業生・大学院生による講演

### 4 情報交換会

※情報交換会の後、希望者を対象に個別相談 (留学・就職) を行います。

申込受付用 URL・QR コード

<https://goo.gl/fKPNUL>



広島大学

お問合せ先

広島大学地域懇談会事務局

Mail: [kyoiku@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kyoiku@hiroshima-u.ac.jp)

TEL: 082-424-6155 ※平日 9:00~17:00 (12:00~13:00 除く)

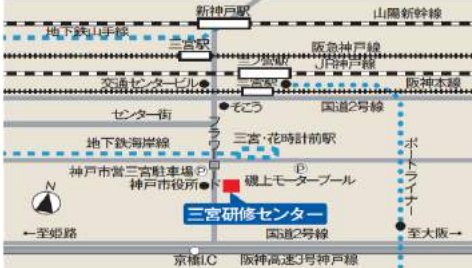
FAX: 082-424-6170

住所: 〒739-8514 広島県東広島市鏡山 1-7-1 学生プラザ 3F

※プログラムは、都合により一部変更となることがあります。



# 神戸会場<sup>10/20</sup> 土



三宮研修センター 兵庫県神戸市中央区八幡通 4-2-12 FR11ビル(神戸市役所東正面)  
**■アクセス** JR 三ノ宮駅中央改札口から徒歩約 5 分(詳細は右記 QR コードよりご確認ください)



時間		プログラム	会場
I	13:00~13:30	学長講演	505 会議室
II	13:35~14:35	大学案内・説明	
III	14:40~15:10	卒業生・大学院生による講演	
IV	15:25~15:55	情報交換会	

※情報交換会の後、希望者を対象に個別相談(留学・就職)を行います。

# 広島会場<sup>11/3</sup> 土



広島大学東広島キャンパス 広島県東広島市鏡山 1 丁目 2 番 2 号  
**■アクセス** JR 西条駅から路線バス約 15 分「広大中央口」下車(詳細は右記 QR コードよりご確認ください)



時間		プログラム	会場
I	11:30~12:30	講演会	サタケメモリアルホール
II	13:35~14:35	大学案内・説明	法人本部棟 4F 会議室
III	14:40~15:10	卒業生・大学院生による講演	
IV	15:25~15:55	情報交換会	

※情報交換会の後、希望者を対象に個別相談(留学・就職)を行います。

# 福岡会場<sup>12/16</sup> 日



アクロス福岡 福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 1 番 1 号  
**■アクセス** JR 博多駅から地下鉄約 5 分(詳細は右記 QR コードよりご確認ください)



時間		プログラム	会場
I	13:00~13:30	学長講演	4F 国際会議場
II	13:35~14:35	大学案内・説明	
III	14:40~15:10	卒業生・大学院生による講演	
IV	15:25~15:55	情報交換会	7F 大会議室

※情報交換会の後、希望者を対象に個別相談(留学・就職)を行います。

# 松山会場<sup>12/22</sup> 土



松山市総合コミュニティセンター 愛媛県松山市湊町七丁目 5 番地  
**■アクセス** JR 松山駅から路線バス約 2 分(詳細は右記 QR コードよりご確認ください)



時間		プログラム	会場
I	13:00~13:30	学長講演	3F 大会議室
II	13:35~14:35	大学案内・説明	
III	14:40~15:10	卒業生・大学院生による講演	
IV	15:25~15:55	情報交換会	

※情報交換会の後、希望者を対象に個別相談(留学・就職)を行います。



平成 30 年 8 月 28 日

文部科学省 大学入学者選抜改革推進委託事業（理数分野）  
「思考力等の評価を目指した理数分野における入試改革セミナー」  
を開催します

平成 28 年度から、広島大学を代表大学として、文部科学省委託事業「大学入学者選抜改革推進委託事業（理数分野）」を受託し、9 大学が連携して高大での教育改革を目指して、思考力等の評価に関する調査・研究を行ってきました。

この度、理数分野の成果報告を兼ねて、北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の 6 地区でセミナーを開催いたします。

セミナーは、大学入試センターの専門家の講演及び理数分野における多面的・総合的な評価を行う入学者選抜のこれまでの調査・研究内容の報告を予定しております。

<入試改革セミナーの日程>

会場名	日 時
北海道・東北	9月21日（金）13:50～17:00
関 東	9月22日（土）13:20～16:30
中 部	12月15日（土）13:20～16:30
近 畿	12月2日（日）13:20～16:30
中国・四国	11月16日（金）13:20～16:30
九州・沖縄	11月17日（土）13:20～16:30

※詳細は別紙をご確認ください。

〔理数分野取組み大学〕

高大協働型グループ：

広島大学（代表校）、京都工芸繊維大学、九州大学、東京理科大学

大学主導型グループ：

東京工業大学（副代表校）、北海道大学、筑波大学、東京大学、早稲田大学

【お問い合わせ先】

教育室

教育部教育支援グループ 角田

TEL:082-424-6151 FAX:082-424-6170

文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業【理数分野】

思考力等の評価のための

# 理数分野における 入試改革セミナー

対象：大学教職員

北海道  
東北

9/21(金)

関東

9/22(土)

中部

12/15(土)

近畿

12/2(日)

中国  
四国

11/16(金)

九州  
沖縄

11/17(土)

## セミナープログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00-13:20 | 受付                                       |
| 13:20-13:25 | 開会挨拶                                     |
| 13:25-13:55 | 大学入試センター<br>理数分野における思考力・判断力・表現力の捉え方(考え方) |
| 13:55-14:45 | 思考力の評価方法・問題例                             |
| 14:45-15:00 | 休憩                                       |
| 15:00-15:50 | 多面的・総合的な選抜方法例                            |
| 15:50-16:00 | まとめ                                      |
| 16:00-16:30 | 質疑・意見交換                                  |

\*北海道・東北地区は、13:30受付・13:50開会・17:00閉会

説明の内容はいずれの会場も同じです。

お申込み <https://goo.gl/fTejcV>

申込期限：各開催日の10日前

どの会場でも参加できます。



主催

広島大学、東京工業大学、北海道大学、筑波大学、東京大学、京都工芸繊維大学、九州大学、東京理科大学、早稲田大学

北海道  
東北

北海道大学 フロンティア応用科学研究棟2階レクチャーホール  
(北海道札幌市北13条西8丁目)

- ・地下鉄北12条駅から徒歩約10分
- ・地下鉄北18条駅から徒歩約10分



問合せ先 ac-info@academic.hokudai.ac.jp

関東

東京工業大学 大岡山キャンパス西講義棟1 レクチャーシアター  
(東京都目黒区大岡山2-12-1)

- ・東急大井町線、目黒線大岡山駅から徒歩約10分



問合せ先 nyu.event@jim.titech.ac.jp

中部

名古屋大学 東山キャンパス  
野依記念学術交流館カンファレンスホール  
(名古屋市千種区不老町)

- ・地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ

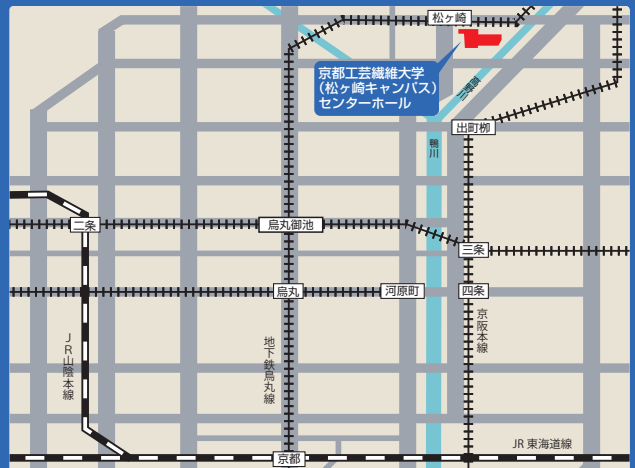


問合せ先 nyu-kai@hiroshima-u.ac.jp

近畿

京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス センターホール  
(京都市左京区松ヶ崎橋上町)

- ・地下鉄烏丸線松ヶ崎駅から徒歩約8分



問合せ先 n-seminar@jim.kit.ac.jp

中国  
四国

広島大学 霞キャンパス 広仁会館  
(広島市南区霞一丁目2番3号)

- ・JR 広島駅から大学病院行広電バス大学病院下車
- ・JR 広島駅から段原・旭町行広島バス大学病院入口下車



問合せ先 nyu-kai@hiroshima-u.ac.jp

九州  
沖縄

九州大学 伊都キャンパス 総合学習プラザ  
(福岡市西区元岡744番地)

- ・JR 筑肥線九大学研都市駅から昭和バス九大工学部前下車
- ・JR 博多駅から西鉄バス九大工学部前下車



問合せ先 admcenter@jimu.kyushu-u.ac.jp



平成 30 年 8 月 28 日

広島市からの受託業務「平成 30 年度広島市訪問看護師養成事業」を広島大学医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センターが実施します

高齢化の進展と地域医療構想に基づく病床削減等により在宅ケアのニーズが拡大することを見据え、在宅医療に従事する訪問看護師の量的拡充と、在宅看取りまでを支えることのできる訪問看護師の育成を並行して進めていくことを目的とし、広島市はこの事業を広島大学に委託しました。

この事業を受託した先駆的看護実践支援センターでは、これから訪問看護師になろうとする人を対象とした研修会や実習、すでに訪問看護ステーションに勤務している看護師を対象とした看取りの技術を向上させる研修会を企画、実施していきます。

広島市にとどまらず、広島県全体の、ひいては全国のモデルとなるような、訪問看護師育成モデルの構築を目指しています。

なお、この事業による訪問看護師養成研修会を以下のとおり実施いたしますので、将来、訪問看護ステーションに就職を希望される方、訪問看護に関心のある方は是非お申し込み下さい。

記

＜在宅医療に従事する訪問看護師を養成するための研修＞

研修内容：訪問看護師として必要な知識を身に付ける講義（座学）：2日間  
訪問看護事業所での実習（同行研修）：3日

講義日：以下のいずれかの日程から選択可能

第1回目実施：10月13日（土）／20日（土）9:00～16:15

第2回目実施：11月10日（土）／17日（土）9:00～16:15

講義場所：広島大学保健学研究棟内（広島市南区霞1丁目2-3）

実習日：講義受講後～平成31年2月末 計3日間

（実習日は希望日を踏まえて協力訪問看護事業所と調整します）

実習場所：広島市又は安芸郡の訪問看護事業所

振り返り：実習終了後に集合形式で振り返りを行います（第1、2回目共通）

※日程は調整中

対象：看護師としての実務経験はあるが、訪問看護の経験のない又は浅い者（1年未満程度）

※原則として、広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務している者、もしくは、今後、広島市及び安芸郡の訪問看護事業所で勤務する予定の者

受講料：無料

募集人数：30名（第1、2回目合計）

申込方法：FAX 又はメール（ポスターを参照）

申込締切：第 1 回目募集 9 月 28 日（金）

第 2 回目募集 10 月 26 日（金）

### <訪問看護技術（看取り・緩和ケア）向上のための研修>

研修内容：ELNEC-J 認定講師による講義（座学）：2 日間

訪問看護事業所の訪問サービスに同行・見学（同行研修）：3 日

講義日：12 月 15 日（土）、16 日（日）9:00～16:30

講義場所：広島大学保健学研究棟内（広島市南区霞 1 丁目 2-3）

実習日：講義受講後～平成 31 年 2 月末 計 3 日間

（実習日は希望日を踏まえて協力訪問看護事業所と調整します）

実習場所：広島市又は安芸郡の訪問看護事業所

振り返り：実習終了後に振り返りを行います

※日程は調整中

対 象：訪問看護事業所での実務経験はあるが、終末期や看取りへの対応経験がない又は浅い者

※原則として、広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務している者、もしくは、今後、広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務する予定の者

受講料：無料

募集人数：15 名（講義のみの場合は可能な限り希望者を受け付けます）

申込方法：FAX 又はメール（ポスターを参照）

申込締切：11 月 30 日（金）

### 【お問い合わせ・お申し込み先】

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

広島大学大学院医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター

担当：森山、伊藤

TEL/FAX：082-257-5369 MAIL：yuito@hiroshima-u.ac.jp

平成30年度広島大学・広島市訪問看護師養成事業

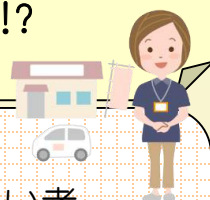
# 在宅医療に従事する訪問看護師を 養成するための研修を開催します!!

受講料 無料 / 募集人数 計30名

訪問看護師として必要な知識を2日間の講義（座学形式）を受講した上で、広島市又は安芸郡の訪問看護事業所での実習（同行研修）を行います。

講義だけでなく、他の訪問看護事業所の訪問看護師との交流や、普段はなかなか経験できない同行訪問で、訪問看護の魅力を学びませんか!?

詳細は裏面を参照ください



## 【受講対象者】

看護師としての実務経験はあるが、訪問看護の経験のない又は浅い者（1年未満程度）

※原則として、広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務している者、もしくは、今後広島市及び安芸郡の訪問看護事業所で勤務する予定の者

## 講義

第1回目 10月13日(土),20日(土)

第2回目 11月10日(土),17日(土)

※1回目、2回目どちらかを  
選択してください

## 実習

講義受講後～平成31年2月末 計3日間

(実習日は、希望日を踏まえて協力訪問看護事業所と調整します)

## 振り返り

実習終了後に集合形式で振り返りを行います(第1回目,2回目共通)  
日程は調整中

## 【申込方法】

1. 氏名
  2. 連絡先(住所、電話、メールアドレス)
  3. 年齢
  4. 看護師の経験年数
  5. 訪問看護経験の有無(年数)
  6. 勤務先事業所名
  7. 希望する講義日程(1or2回目)
- をFAXもしくはメールでお知らせください。

## 【申込締切】

第1回目募集:9月28日(金)、第2回目募集:10月26日(金)

## 【問い合わせ・申込先】

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

広島大学大学院医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター 担当:伊藤

電話&FAX:082-257-5369 メールアドレス: [yuito@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yuito@hiroshima-u.ac.jp)

実施主体:国立大学法人広島大学

〔広島市委託事業〕

後援:公益社団法人広島県看護協会 広島県訪問看護ステーション協議会

# 訪問看護師になるための 研修(基礎編)の内容は？

## 研修プログラム

### 【講義】

**1日目:10月13日(土) / 11月10日(土)**

9:00~10:30

医療・介護の動向 — 訪問看護に必要な医療・介護保険制度の理解

10:45~12:15

訪問看護の対象の理解 — 患者と家族を一つのケアユニットとしてとらえる

13:00~14:30

訪問看護の実践に必要な疾患と疾病管理の知識

①口腔ケア ②スキンケア ③呼吸器疾患のケア

14:45~16:15

訪問看護の魅力 — 訪問看護の概要、看護師の役割と基本姿勢

**2日目:10月20日(土) / 11月17日(土)**

9:00~10:30

アセスメントと看護計画の立案

10:45~12:15

リスクマネジメント

13:00~14:30

訪問看護の実践に必要な疾患と疾病管理の知識

④心不全のケア ⑤高齢者/認知症ケア ⑥緩和ケア

14:45~16:15

病院・施設・在宅における多職種連携

**講師は、訪問看護事業所の所長、専門看護師や認定看護師が務めます!!**

**会場(共通):広島大学保健学研究棟内(広島市南区霞一丁目2-3)**

### 【実習】

講義受講後に訪問看護事業所の訪問サービスに計3日間、同行・見学し、訪問看護の実態を学びます





～平成30年度 広島大学・広島市訪問看護師養成事業～

# 訪問看護技術(看取り・緩和ケア) 向上のための研修を開催します!!

**受講料:無料 / 募集人数:15名**

在宅看取りまでを支えることのできる訪問看護師を養成するための研修(2日間の座学研修及び3日間の同行研修)を行います。  
ELNEC-J(The End-of-Life Nursing Education Consortium)の研修内容を中心に、在宅での看取りの技術向上を図る研修です(修了証発行)。  
詳細は裏面を参照ください

## 受講対象者

訪問看護事業所での実務経験はあるが、終末期や看取りへの対応経験がない  
又は浅い者  
※原則として、広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務している者、もしくは今後広島市又は安芸郡の医療機関等に勤務する予定の者

## 講義

12月15日(土)・16日(日)

## 実習

講義終了後～平成31年2月末  
(実習日は、希望日を踏まえて協力訪問看護事業所と調整します)

## 振り返り

実習終了後に振り返りを行います(日程調整中)



## 【申込方法】

1. 氏名
  2. 連絡先(住所、電話、メールアドレス)
  3. 年齢
  4. 訪問看護経験年数
  5. 勤務先事業所名
- をFaxもしくはメールでお知らせください。

## 【申込締切】

11月30日(金)

※定員は15名ですが講義のみは可能な限り希望者を受け付けます。

## 【問い合わせ・申込先】

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

広島大学大学院医歯薬保健学研究科附属先駆的看護実践支援センター 担当:森山

電話&FAX:082-257-5369 メールアドレス: [yuito@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yuito@hiroshima-u.ac.jp)

実施主体:国立大学法人広島大学

〔広島市委託事業〕

後援:公益社団法人広島県看護協会

広島県訪問看護ステーション協議会

# 訪問看護技術(看取り・緩和ケア)向上 のための研修の内容は？



講師: ELNEC-J認定講師

濱本 千春 (YMCA訪問看護ステーション・ピース, がん看護専門看護師)

佐々木 由紀 (広島文化学園大学看護学科講師, 緩和ケア認定看護師)

藤本 泰子 (YMCA訪問看護ステーション・ピース, がん性疼痛看護認定看護師)

## ELNEC-Jの内容を基本に構築

### 研修プログラム(予定)

#### 【講義】

時間	1日目 12月15日(土)	2日目 12月16日(日)
9:00 ~ 10:00	エンド・オブ・ライフ・ケア (EOL)における看護	コミュニケーション ~患者の意思決定を支えるために~
10:15 ~ 11:15	痛みのマネジメント	喪失、悲嘆、死別
11:30 ~ 12:30	症状のマネジメント	臨死期のケア
13:20 ~ 14:20	EOLにおける倫理的問題	高齢者のEOL
14:35 ~ 15:35	EOLにおける文化への配慮	質の高いEOLの達成 目標・行動計画の立案
15:50 ~ 16:30	在宅看取り、緩和ケアに 関する制度・支払いの仕組み	在宅看取り、緩和ケアに関する リスクマネジメント

会場: 広島大学保健学研究棟内(広島市南区霞一丁目2-3)

#### 【実習】

講義受講後に訪問看護事業所の訪問サービスに計3日間、同行・見学し、在宅における看取り・緩和ケアについて学びます



平成30年8月28日

## 第6回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します

広島大学体育会主催による「第6回広島大学フェニックスリレーマラソン」を10月8日（月・祝）の体育の日に開催します。

9つの参加部門を設け、2名～10名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学キャンパス内の約1.6kmの特設コースを4時間でどれだけ周回できるかを競います。

150チームで熱いレースを繰り広げます。皆様の温かい応援をお待ちしています。

なお、持参・郵送・FAXでの募集締切は、9月7日（金）までです。ご参加をお待ちしています。

### 記

- 【日 時】 平成30年10月8日（月・祝） ※小雨決行
- 【場 所】 広島大学東広島キャンパス
- 【募集定員】 150チーム（1チーム：2～10人、1,100人程度）  
※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。
- 【参加料】 一般の方 2,000円／人  
高校生以下 1,000円／人
- 【参加資格】 老若男女、学内外を問わず出場可能。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限ります。
- 【参加申込】 大会パンフレットの参加申込書に必要事項をご記入の上、持参郵送もしくはFAXによりお申し込みいただくか、インターネット（<http://runnet.jp>）よりお申し込みください。
- 【募集締切】 インターネット 平成30年9月3日（月）  
持参・郵送・FAX 平成30年9月7日（金）
- 【大会HP】 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/husa1rm/husa/relaymarathon/index.html>

### 【お問い合わせ先】

広島大学体育会窓口  
TEL・FAX:082-424-9217

# Link!

未来を、地域を、仲間をつなぐ

第3回 広島大学  
フェニックスリレーマラソン



## 第6回広島大学 フェニックスリレーマラソン

# 10.8 mon

会場: 広島大学東広島キャンパス  
(約1.6km)

主催 広島大学体育会

募集締切

インターネット

持参・郵送・FAX

平成30年 9月3日(月)

平成30年 9月7日(金)

1. 競技内容

4時間  
リレーマラソン

2名～10名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学東広島キャンパス内の特設コース（約1.6km）を4時間（4時間を超えてのたすき渡しはできません）でどれだけ周回できるかを競います。

2. 大会実施要項

■開催日／平成30年10月8日（月・祝）

※悪天候による中止の場合は大会当日の午前6時に大会HPにてお知らせいたします。

■開催場所／広島大学東広島キャンパス内  
（東広島市鏡山1丁目）

■スケジュール（予定）

10月7日（日）

16:00	前日受付（18:00まで）
-------	---------------

10月8日（月・祝）

7:30	当日受付（8:30まで）
9:00	開会式・チーム代表者会議
10:00	競技開始
14:00	競技終了
15:00	閉会式
16:00	解散

■募集期間

募集開始：平成30年6月1日（金）

募集締切：インターネット 平成30年9月3日（月）  
持参、郵送、FAX 平成30年9月7日（金）

■お申し込みについて

右ページをご参照ください。

■表彰／9部門

各部門上位3チームは閉会式にて表彰を行います。入賞チームにはご協賛各社より副賞があります！

(A) 一般の部	年齢・性別・所属を問わないチーム
(B) 小学生の部	小学生のみで構成されたチーム ※ただし教師または保護者が3名までチームに加わることは認める。
(C) 中高生の部	中高生のみで構成されたチーム
(D) ファミリーの部	家族のみで構成されたチーム
(E) なでしこの部	女性のみで構成されたチーム
(F) 地域の部	東広島市民または東広島市在住の方のみで構成されたチーム
(G) 企業チームの部	同じ企業に所属するメンバーのみで構成されたチーム
(H) OB・OGの部	広島大学のOB・OGのみで構成されたチーム
(I) 広大の部	広島大学に在学中の学生・教職員のみで構成されたチーム

(A)～(I)のいずれかの部にエントリーしてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。1チームの構成人数は2名～10名とします。

本大会では上記の賞に加え、特別賞として以下の賞を設けます。

<特別賞>

パフォーマンス賞 大会を通して印象に残り、大会を盛り上げたチーム ※全参加チームから3チームを決定します。

■申込規定及び誓約項目

[申込規定]

- 競技者の大会中での自己責任を明確にするため、申し込みされた全ての参加者は誓約項目に同意し、申し込みを行ったとみなします。
- 個人が複数のチームで参加することはできません。
- 申込書の個人情報、本大会に関わる業務及び今後の大会情報案内を送付させていただく際に使用いたします。参加される方の同意無しに第三者へ開示・提供することはありません。

[誓約項目] 大会申し込みの際に参加者は以下の誓約事項に同意の上、お申し込みください。

- 主催者は参加者全員を対象にスポーツ傷害保険に一括加入いたしますが、保険適用外は自己負担とします。また、大会中における盗難・紛失や傷病、不慮の疾病・事故等による処置は、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
- 振込後の自己都合による種目変更、キャンセルはできません。不参

■募集定員

150チーム（1,100名程度）

※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。

■参加料

一般	2,000円
高校生以下	1,000円
体育会(賛助)会員	1,200円

※参加料には、大会中のケガ等を保障する傷害保険の掛け金が含まれます。

※エントリーは参加料の振込をもって完了となります。

■出場資格

老若男女、学内外を問わず出場可能です。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限りです。

※広島大学の学生及び教職員は、東広島キャンパス・霞キャンパスにて健康診断を行います（8月・9月を予定しております。）ので必ず受診してください。詳しくは大会HPをご覧ください。

■その他

大会当日は駐車場に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。

貴重品の管理は各自で行ってください。主催者は、盗難・紛失などの責任は一切負いません。

ゴミは各自でお持ち帰りください。

加、過剰入金、重複入金は返金いたしません。

3. 氏名・年齢・性別等の虚偽申告、申込者本人以外の出場等の不正出場は認められません。その場合は出場を取り消します。

4. 地震・風水害・事件・事故等による中止、または悪天候による中止及び上記3の場合や、振込後のキャンセルについては、参加料の返金はいたしません。

5. 大会中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネットなどへの掲載権・肖像権は主催者に属します。

6. 決められた場所以外への立入りは禁止いたします。

7. 高校生以下の参加については、保護者の同意を得て参加してください。

8. 有事の際（救急事案等）は運営本部にのみ、ご連絡をお願いいたします。運営本部より、各所に連絡手配いたします。

### 3. 申し込み方法

申し込み方法には以下の2通りの方法があります。いずれかを選んでお申し込みください。  
受付完了後9月下旬にチーム代表者宛てに大会詳細を記載した書類（競技規定及び大学へのアクセス等）を郵送にてお届けします。

#### A インターネット

申込締切日 平成30年9月3日(月)

パソコンまたは携帯電話等から下記のURLにアクセスし、大会エントリーページの指示に従ってお申し込みください。  
支払方法は、お申し込みの際にお選びいただけます（クレジットカード、コンビニ、ATMなど）。

※エントリー手数料が別途かかります。

http://runnet.jp 「ランネット」で検索

#### B 参加申込書の持参・郵送・FAX

申込締切日 平成30年9月7日(金)

次の①、②の手順でお申し込みください。

①申込規定を参加者全員が同意の上、以下の「第6回広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申込書」に必要事項を記入し、持参・郵送・FAXのいずれかの方法で広島大学体育会窓口へ提出してください。

②右に指定する口座へ参加人数に応じた参加料の振込を行ってください。  
振込をもって申し込み完了となりますので必ず期限内に行ってください。

振込期限 平成30年9月7日(金)迄

※振込に際しては手数料が別途必要となりますが、個人負担でお願いします。  
振込の際の控等は、リレーマラソン終了時まで大切に保管してください。

郵送、FAXによる受付先

〒739-8514

東広島市鏡山1-7-1

広島大学フェニックスリレーマラソン実行委員会宛

TEL・FAX：082(424)9217

振込先 : 広島銀行西条南支店

支店コード・口座番号 : 支店コード207 口座番号3271329

普通預金

受取人氏名 : 広島大学フェニックスリレーマラソン

実行委員会

振込人 : **※必ず参加申込書に記入したチーム代表者様が振込をおこなってください。**

切り取り線

### 第6回 広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申込書

出場区分 ※該当部分に必ず○をつけてください	(A) 一般の部 (D) ファミリーの部 (G) 企業チームの部	(B) 小学生の部 (E) なでしこの部 (H) OB・OGの部	(C) 中高生の部 (F) 地域の部 (I) 広大の部		
(フリガナ) チーム名					
所属団体名					
代 表 者	(フリガナ) 氏名				
	住所	〒			
	電話番号	自宅等	携	帯	
メンバー表	※氏名は楷書で丁寧に書きください				
	氏名	フリガナ	年齢	性別	体育会会員番号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

振込金額 一般 人×2,000円

高校生以下 人×1,000円

体育会(賛助)会員 人×1,200円 合計 円

誓約項目に参加者全員が同意した上でチェック

※出場区分は該当する部門に丸をつけてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。未記入又は複数に記入している場合、部門別の受賞資格を与えないことがあります。

なお、メンバーの数字は走る順番とは関係ありません。

※誓約項目に同意したことを示すチェック欄にチェックがなければ参加できません。

# 第6回広島大学フェニックスリレーマラソンコース図

- ・コース全長約1.6km  
小さなお子様からご年配の方まで、どなたでも走りやすい距離になっています！
- ・大学キャンパスの校舎群と自然の両方をお楽しみいただけます！

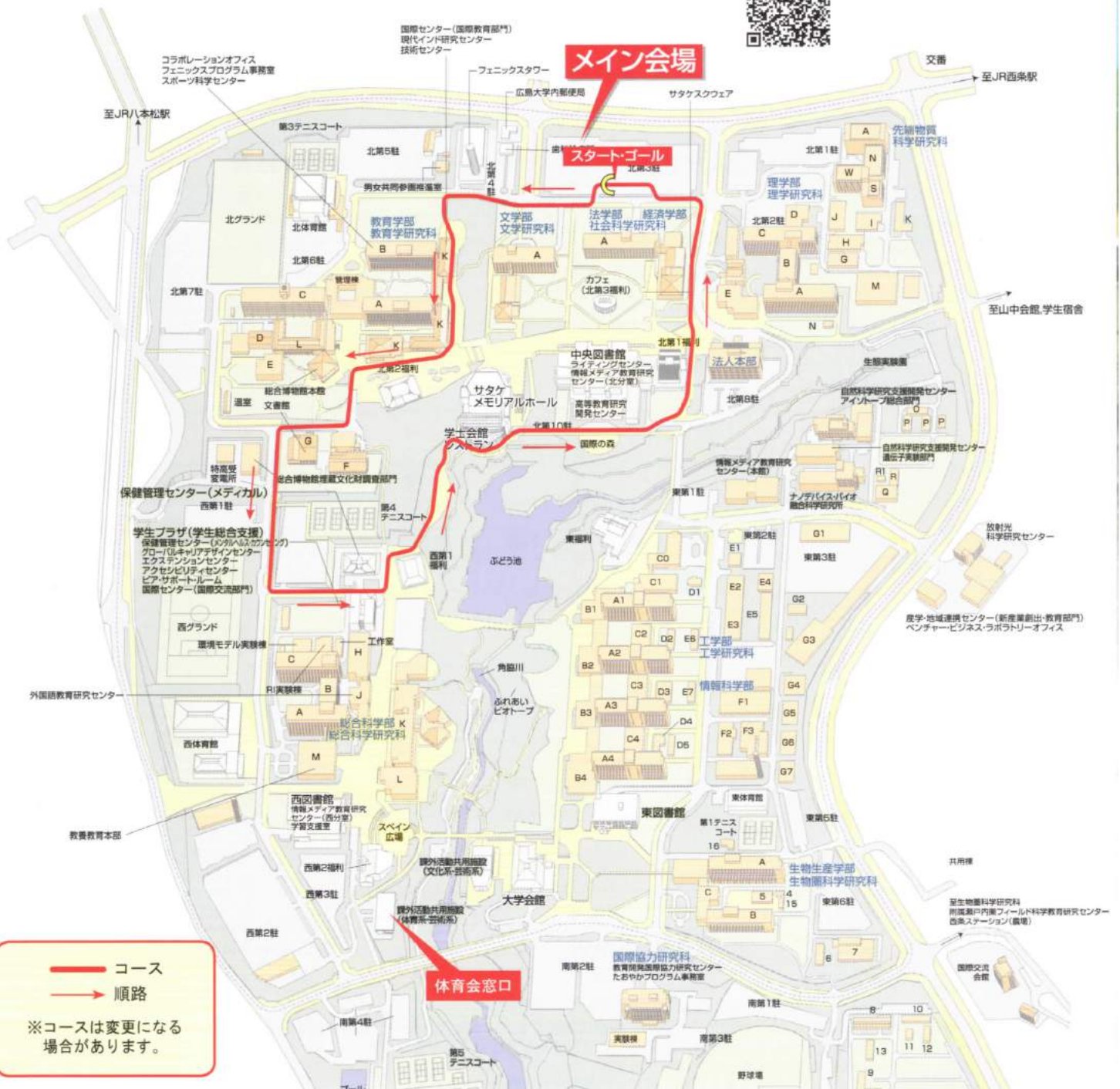
## お問合せ

### 広島大学体育会窓口

住所: 東広島市鏡山1丁目7-1  
 TEL・FAX: 082(424)9217  
 E-mail: marathon@sitehusa.xsrv.jp  
 営業時間: 9:30~17:00(土・日・祝日を除く)  
 (※夏季休業中は月・水・金の11:00~15:00のみ)

### ホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/husa1rm/husa/relaymarathon/index.html>



— コース  
→ 順路  
 ※コースは変更になる場合があります。



平成30年8月28日

公開講演会『共生を超えて—「神の島」宮島の  
自然と歴史—』を開催します

平成30年9月17日に公開講演会『共生を超えて—「神の島」宮島の自然と歴史—』を開催いたします。

「日本の縮図としての宮島の生態系」と題して関 太郎氏（広島大学名誉教授）による講演のほか、宮島の自然、歴史、文化、防災に関する内容をわかりやすく解説します。この講演会は、9月13日～16日に広島市内で開催される日本植物学会の公開講演会です。

講演会の後、宮島島内の植物や砂防の現状を紹介するエクスカージョンも実施されます。

参加は無料で、一般の方にもご参加いただけます。皆様のご来場を心からお待ちしております。

記

日 時：平成30年9月17日（月・祝）10:00～12:00

会 場：宮島学園（宮島小中学校）体育館  
広島県廿日市市宮島町 779-2

プログラム：

<公開講演会> 10:00～

○日本植物学会会長のご挨拶

三村 徹郎（神戸大学理学研究科教授・日本植物学会会長）

○はじめに

山口 富美夫（広島大学理学研究科教授）

○「にほんの縮図としての宮島の生態系」

関 太郎（広島大学名誉教授）

○「シカの棲む島、宮島の森林植生の特殊性」

奥田 敏統（広島大学大学院総合科学研究科）

○「歴史資料にみる宮島の自然」

本多 博之（広島大学大学院文学研究科）

○「宮島の土砂災害と紅葉谷川庭園砂防」

海堀 正博（広島大学大学院総合科学研究科）

<自然観察会> 14:00～

○コース1（予定）：植物観察 宮島港-杉の浦-包ヶ浦

○コース2（予定）：災害復興事業紹介、紅葉谷-砂防堰堤

（集合場所等、追って詳細お伝えします）

※ 詳細は日本植物学会大会の Web サイト（日本植物学会第 82 回大会 <http://bsj82.jp/>）をご覧ください。

【お問い合わせ先】

理学研究科附属宮島自然植物実験所

坪田 博美

TEL:0829-44-2025

FAX:0829-40-2001